

# 事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
**380 大気等測定検査事業**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		衛生研究所費	
	大事業		衛生研究所事業	
事項		大気等測定検査事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	3	検査体制の強化

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	S 5 2 ~		
事業実施の根拠法令	悪臭防止法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	衛生研究所	森野 吉晴 (453-0055)	
関連課	環境政策課		

## 1 事業概要及び実施内容

	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
事業概要	市内の定点及び工場等の敷地境界線上における悪臭の分析を実施することにより、汚染発生源である工場・事業場に対する監視・指導等に役立てるとともに、市民の健康及び生活環境の保全を図ることを目的とする。	・環境政策課等からの行政依頼による検査 市内の定点及び工場等の敷地境界線上における悪臭物質の試験検査（年間計画） 苦情処理のための悪臭物質等の試験検査				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		行政検査計画に基づく大気の測定を行った。	行政検査計画に基づく大気の測定を行った。	行政検査計画に基づく大気の測定を行う。	行政検査計画に基づく大気の測定を行う。	行政検査計画に基づく大気の測定を行う。

## 2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	581	564	566	545	556	543	521		521		
	伸び率 (%)	-	-	-2.6%		-1.8%		-6.3%		0.0%		
	人件費	常勤職員	3,505	3,514	3,514	3,473	3,086	3,580	3,580		3,580	
		非常勤職員	362	362	362	328	552	626	626		626	
		小計	3,867	3,876	3,876	3,802	3,638	4,206	4,206		4,206	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源(税等)	581	564	566	545	556	543	521		521		
所要人数	常勤職員	0.47	0.47	0.47	0.46	0.41	0.47	0.47		0.47		
	非常勤職員	0.17	0.17	0.17	0.16	0.26	0.29	0.29		0.29		
主な予算内訳		消耗品費257千円、医薬材料費155千円										

## 3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	検査実施項目数（大気等測定検査）				年度目標値				
					実績値	200	211	200	
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	衛生研究所における検査可能項目数（大気等測定検査）				年度目標値	25	25	25	25
					実績値	25	25	25	
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
				年度目標値					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市内の定点及び工場の敷地境界線上の悪臭分析を行ってきたことにより、市民の生活環境の保全に貢献してきた。
「見直し」 「改善」案	検査分析の精度を維持するため、老朽化した機器の更新の予算化を図る予定である。